



議員活動通信

日田市議会議員

なかしま章二



リニューアル
オープン!!

大山文化センター



関係者によるテープカット



大山中学校 吹奏楽部による演奏



洗足学園音楽大学同窓会 記念コンサート



石橋議長による祝辞

晴天に恵まれた令和4年7月1日、
芸術文化活動の促進や多世代による多様な交流・活動の拠点として、大山文化センターがリニューアルオープンしました。

併設されている大山公民館は、令和3年4月1日にリニューアルオープンしていましたが、このたび文化センターも新たにオープンしたことで、複合的な活用も広がり、これからの日田市のまちづくりに活用されることと思います。

記念式典では、隣接する大山中学校の吹奏楽部の皆さんが元気に演奏してオープンに華を添え、その後、テープカットが行われました。また、ホールで式典と洗足学園音楽大学同窓会大分県支部の皆さんによる記念コンサートが行われました。イベント広場では「大山スマイルマルシェ」が開かれ、キッチンカーや地元の食品販売などで賑わいました。

センターは、座席数233のホールと、多目的ホール、キッズコーナー、テラスとイベント広場(屋外ステージ付)を備え、誰でも利用できます。

詳しくは日田市ホームページ(下の2次元コード)からご確認ください。



令和4年度第2回(6月)定例会

令和4年度日田市一般会計補正予算は、歳入歳出の総額を、それぞれ5億3562万8千円追加し、総額を379億5736万円とするものなど、19議案を審議し承認、可決、採択しました。

【歳入】

国庫支出金と県支出金を追加し、不足する財源を財政調整基金から繰り入れて補います。

【国庫支出金】新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金により4億744万円を追加。

【県支出金】経済対策の補助金などにより1億2243万8千円を追加。

【歳出】

主に、長引くコロナ禍や物価高騰対策が提案されました。

住民税非課税世帯に対する物価高騰対策支援給付事業

コロナ禍や物価高騰に直面する住民税非課税世帯に対し、電気料金等の値上がり分を考慮して、一世帯当たり1万3千円を支給

する事業です。なお、現在あらゆる分野で物価が高騰しています。そのため、物価の動向を的確に把握し、生活困窮者に対する追加の支援策も検討するよう要望しました。

幼児教育・保育施設等物価高騰緊急支援事業 公立教育・保育施設運営費 学校給食運営事業

これらの事業は、給食の賄材料費の増額分について、保護者の負担を増やさずに、栄養バランスを保った給食を提供できるように、認定こども園や学校給食に対して支援を行うものです。今後物価動向を注視しながら、質・量ともに子どもたちが必要とする給食を提供できる取組を検討するよう要望しました。あわせて、物価高騰対策については、市だけが対応するのではなく、国が責任をもって対策を講ずるよう強く求めることを要望しました。

畜産飼料高騰特別支援事業

コロナ禍の原油価格・物価の高騰は、飼料や原材料の多くを輸入に依存する畜産農家の経営にも打撃を与えています。そこで、配合飼料においては、令和3年度第3四半期と第4四半期の価格安定制度による補てん後の平均輸入原料価格を比較し、差額の4400円を、粗飼料においては令和3年11月と令和4年4月の1ト当たり100円をそれぞれ基準とし、その2分の1以内(上限60万円)の補助を行います。審査では、今後も飼料価格の推移を注視しながら事業の周知に努め、畜産農家の経営安定の手助けができるよう要望しました。

地域消費喚起プレミアム商品券支援事業

プレミアム率は30%で、2種類(紙タイプ・電子タイプ)の商品券を準備し、販売総額1億4千万円を予定。使用期間は、令和4年10月から令和5年1月までの予定です。この事業の目的は、個人消費の下支えや、企業が原材料等の高騰分を価格転嫁しやすい環境をつくることです。大分県が実施する商品券発行支援事業を

活用します。利用店舗を増やすためにも、関係事業者に対する周知のほか、観光客等が商品券を利用することも想定し、市外からの消費獲得に向けた取組も推進するよう要望しました。

6月補正予算の主な事業

事業名	補正額
1 新型コロナウイルスワクチン接種事業	131,760 千円
2 住民税非課税世帯等に対する物価高騰対策支援金給付事業	124,111 千円
3 幼児教育・保育施設等物価高騰緊急支援事業	12,840 千円
4 公立教育・保育施設運営費【財源振替】	492 千円
5 学校給食運営事業	12,733 千円
6 地域消費喚起プレミアム商品券支援事業	279,750 千円
7 畜産飼料高騰特別支援事業	31,070 千円
8 ウクライナ避難者生活支援事業	664 千円
9 コミュニティ助成事業【有田町・本町】	4,300 千円
10 伝統工芸文化交流促進事業	2,310 千円
11 農業体質強化基盤整備促進事業【尾当地区】	4,000 千円

令和4年度 一般会計補正予算 (第2号) 概要

当初予算額	37,317,813 千円
現予算額	37,421,732 千円
今回の補正額	535,628 千円
補正後の予算額	37,957,360 千円
(参考) 令和3年度6月 補正後予算額	38,690,198 千円

6月議会 一般質問と答弁

子ども・子育て支援(児童館)について



【中島】4館の児童館の利用実績について伺う。

【福祉保健部長】 令和3年度における延べ利用者数は、中央児童館 7,695 人、天瀬児童館 769 人、大山児童館 649 人、松原児童館 121 人である。



【中島】各児童館の令和元年度の実績は、1日当たり、中央児童館 60.8 人、天瀬児童館 5.3 人、大山児童館 3.6 人、そして松原

児童館が 3.9 人。中央児童館以外の利用者数をみると、設置目的を達成できていないと考えるが、市の考え方を伺う。

【福祉保健部長】(近隣地域の)子どもの人数が違うことや、アクセスの問題等があるが、「移動児童館」も機会を見てやっていくことを考えたい。

【中島】周辺部との子育て環境格差についてどのように考えているのか。そして、今後の対応について伺う。

【福祉保健部長】基本は同一のサービスの範疇でも、地域の実情に応じた形をどのようにやっていくのかを考慮してやっていきたい。

 中島の視点

切れ目のない子育て支援は、年齢だけでなく、地域の違いへの対応も必要ではないか。市が子育て支援事業を実施する際は、市全体を見渡す総合的なビジョンを持って、骨格となるプランを事前に練ることが重要だと考える。今後、児童館の機能や周辺部の支援までしっかりと考え、子ども・子育て支援について拡充していくよう要望する。

持続可能な学びの保障について

【中島】持続可能な学びの保障のための日田市の教員確保状況について伺う。

【教育長】令和4年6月時点において、市内小中学校には、決められた定数によって配置される教員に加え、児童生徒の指導・支援をより充実させるための加配教員、さらに産休・育休及び病休者の代替教員の配置ができています。

【中島】教育現場の変化に対応する改革の必要性について伺う。

【教育長】市教委として、学校教育においては、これからの社会を生き抜く児童生徒を育成するために、社会の変化への対応が必要であると考えている。

例えば、タブレット端末を家庭に持ち帰る体制を整えることとあわせて、紙媒体による家庭学習から AI ドリルを活用した「個に応じた家庭学習」への転換を図る取組を推進している。

【中島】持続可能な学びの保障のためには、安心して子どもたちと向き合うことのできる職場環境が必要と考える。そのため、教育長がリーダーシップをとり、しっかりとした方向性を打ち出していきたいが、考え方を伺う。

【教育長】当然、市教委としてできることは、これからも取り組んでいきたいと思う。私がリーダーシップをとって進めていく。



小中学校におけるいじめの解消状況について

【中島】大分県と日田市のいじめの解消状況について伺う。

【教育長】 いじめの解消率は、大分県では小学校79.7%、中学校72.0%、小中あわせて78.0%。日田市では小学校82.7%、中学校55.5%、小中あわせて79.1%となっている。

【中島】いじめ事象の対策として転校という形もあるが、このようなケースが発生した時に市教委の考え方について伺う。

【教育長】 転校した場合も、いじめ解消の状態の2つの要件（①いじめが行われていない期間が3月以上②心身の苦痛を感じていない。）が満たされていなければ、いじめは解消されたとはとらえるべきではない。

【中島】いじめ事象の対策として転校するときに、学校間で詳細な引継ぎが必要だと考える。両校で傷ついた子どもの心の回復に努めることが大切だと考えるが市教委の考え方を伺う。

【教育長】 転出時には当然、転出先の学校への情報提供や継続的な見守りの依頼等の配慮も行っている。これとともに、必要に応じて状況把握に努め、スクールカウンセラーや臨床心理士の専門スタッフを活用しながら、引き続き児童生徒の心のケアや保護者の相談に応じるなどしていきたいと考えている。



【中島】日田市では、いじめ・不登校アクションプランが出されているが、いじめと不登校の対応が一つのアクションプランで対応できるのか伺う。

【教育長】 これは、県教委に報告するために、県教委が示した様式にのっとって作成している。

いじめ、不登校に対する対応については共通点も多い。現時点では1つの様式で示しているが、個別の対応では異なることも多くある。このため、よりわかりやすくするために、次年度に見直してみたいと考えている。

【中島】日田市のSNSいじめについて伺う。

【教育長】 令和2年度は小学校が8件、中学校が12件となっている。

【中島】SNSいじめは見えにくいことがあるかと思う。また、導入したタブレットを使ったいじめ行為が発生しないように、しっかりと未然防止対策を行って欲しい。

👉 中島の視点

いじめ防止対策推進法を読み込むと、私は「教育の範疇を超えて先生方が対応せざる得ない部分」が出てくるのではないかと感じる。

子どもに謝罪や責任を問うだけ、あるいは懲戒を与えるだけに終わってはならないと思う。

これまで行われてきた教育的配慮との間（はざま）で、先生方が取組の難しさに悩んだり、学校現場が混乱するような状況が生まれぬか懸念している。

※「いじめの解消」についての質問は、時間切れとなりました。「中島の視点」を含め「いじめ対策」について、今後も問い質していきます。

発行：日田市議会議員 中島 章二
〒877-0006 大分県日田市港町 8-64
携帯電話 090-8412-9143

